

会 議 録

1	会議名	第5期南砺市協働のまちづくり推進会議 第6回推進会議（全体会）
2	議題	1. 開会 委員長あいさつ 2. 議事 専門部会の設置について 3. 閉会 副委員長あいさつ
3	開催日時	令和5年6月7日（水） 開会時間：午後7時／閉会時間：午後9時
4	開催場所	井波コミュニティプラザ「アスモ」大会議室 （南砺市山見1739番地の2）
5	出席者	<p>[委員：全20名] ※50音順、敬称略 出席：荒木 信人、上坂 紀子、江田 攻、長田 正勝、齊藤 優華、 佐竹 弘昭、嶋田 早苗、俵 圭子、中山 明美、能登 貴史、 長谷川 邦子、林 則雄、松本 久介、南 眞司、藪 英雄、 渡辺 洋子 欠席：磯辺 文雄、坂本 博昭、竹部 俊恵、松嶋 裕治</p> <p>[市：出席3名] 事務局 南砺で暮らしません課長 大浦 幸恵 南砺で暮らしません課 協働のまちづくり係長 山下 真人 " " 主事 得能 基史</p>
6	傍聴者	0名
7	内容及び 決定事項	<p>協議内容 ・専門部会の設置について</p> <p>決定事項 下記の3部会を設置し、今後はそれぞれの部会において詳細な協議を行う。部会名称は全て仮称とする。</p> <p>①市民参画推進部会 （部会長 渡辺 洋子） 第1回部会 日時：6月28日（水） 19時から 会場：井波コミュニティプラザ「アスモ」会議室</p> <p>②情報公開推進部会 （部会長 江田 攻） 第1回部会 日時：6月26日（月） 18時から 会場：井波コミュニティプラザ「アスモ」会議室</p> <p>③提言に関する検証及び見直し部会 （部会長 能登 貴史） 第1回部会 未定</p>

7 会議録	<p>1. 開会 委員長あいさつ</p> <p>林委員長 新型コロナウイルス感染症の規制も緩和され、それぞれの地域活動を活発に実施することができるようになった。当会議は、これまで勉強会やグループディスカッションを重ねてきて、前回の会議では専門部会の設置が提案されたところである。 本日は、これまでの議論やアンケート結果を基に事務局案を提案するので、専門部会の設置について議論いただきたい。</p> <p>2. 専門部会の設置について</p> <p>事務局より資料説明</p> <p>A委員 会議の日程は、委員長と副委員長と事務局で決めるのではなく、委員全員で参加可能な日を調整し、最も多くの委員が参加できる日で決定してほしい。</p> <p>B委員 スケジュール案について、事務局から提示された、部会設置から提言までの3ヵ月という期間は短いという印象を受ける。専門部会で、どのような方法で活動を進めればいいのかわからない。具体的な活動内容、成果物のイメージができない。</p> <p>林委員長 専門部会の具体的な活動内容や活動方針については部会において議論いただければと思う。</p> <p>C委員 「③提言に関する検証及び見直し部会」について、活動の主旨がよくわからない。提言に関する進捗については「①市民参画推進部会」、「②情報公開推進部会」のそれぞれで調査すればいいのではないか。</p> <p>D委員 そもそも南砺市協働のまちづくり推進会議として提言するかどうかを検討するためにも、提言に関する調査機関は必要だと思う。 事務局案としては、専門部会の兼任の可否はどう考えているか。</p>
-------	---

事務局

深く議論いただくために専任と考えている。

林委員長

「③提言に関する検証及び見直し部会」の必要性についてご意見をいただきたい。

B委員

南砺市協働のまちづくり推進会議の役割をしっかりと定義してほしい。

C委員

南砺市協働のまちづくり推進会議から市への提言は必ず提出しなくてはならないのか。

林委員長

提言は必ずしも出さなくても問題ない。

F委員

南砺市協働のまちづくり推進会議の役割は、南砺市協働のまちづくり基本条例の運用状況の確認、推進、見直しのための調査及び審議であると認識している。

B委員

南砺で暮らしません課の担当の行政サービスや責務の範囲、南砺市協働のまちづくり推進会議の役割を確認したい。

G委員

南砺市協働のまちづくり推進会議の役割の根幹は協働のまちづくりを推進することである。

齊藤副委員長

第5期南砺市協働のまちづくり推進会議のこれまでの調査やグループワーク等の活動を継続する中で、必要であれば提言をするという形が適切だろうと思う。

それぞれの委員に思いがあるので、部会として分かれて議論していくことが大切だと思う。

C委員

副委員長のおっしゃる通り、南砺市協働のまちづくり推進会議は提言ありきで進めるのではなく、議論を積み重ねる中で必要な対応を取るという

ことが大切だと思う。

その結果、必要であれば提言を実施したり、南砺市まちづくり基本条例解説版を増刷することを提案したり、その都度検討すればいいと思う。

D委員

提言というものについて、提言の内容や検証という部分に論点が集中していると思う。南砺市協働のまちづくり推進会議から市長へ提言したことについて、結果的に数年がかりで実現したこともある。提言に対する回答を短期的に見ることだけでなく、提言したことは市長や市当局の中に残っているものなので、長期的に見ることも大切である。

H委員

南砺市まちづくり基本条例の情報共有の原則に基づくパブリックコメントや会議公開について、市民の求めているものになっているかどうかを確認することは大切である。

A委員

南砺市まちづくり基本条例の成果について、内部検証だけでなく外部検証をすることを提言するための部会は必要だと思う。

F委員

昨年度の勉強会やグループディスカッションは非常にいい機会であり、素晴らしいヒントがたくさんあったと感じている。提言や検証も大切だと思うが、グループでの協議を掘り下げていくことが大切だと思う。

林委員長

これまでの議論を統括し、①市民参画推進部会、②情報公開推進部会、③提言に関する検証及び見直し部会の部会を設置し、それぞれ分かれて議論することとしたい。兼任は可能としたい。

各部会にて部会長と第1回の会議日程を協議

4. 閉会 副委員長あいさつ

齊藤副委員長

3つの専門部会が設置され、部会長が決定した。これからは部会に分かれて、少人数の話しやすい雰囲気の中で議論することで、楽しみながら、いろいろな意見を出し合うことを期待している。

本日はありがとうございました。